

【るもい農業情報広場】

令和5年4月1日

R5-4月号

QRコードを読み取って
アクセス!!!

今月の技術対策 (水稻編)

留萌農業改良普及センター

TEL : 0164-62-1779 FAX : 0164-62-2474

E-mail : rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp



畑作・園芸編も
HPで公開中!

1 ほ場の乾燥促進

気温が高く降雨もあったことから融雪は平年よりも早まっています。ハウス周辺の溝掘りや本田の停滞水の排水などを実施し、ほ場の乾燥促進に努めましょう。

2 苗床のリン酸過剰

育苗ハウスでリン酸成分が蓄積すると過剰障害（第一葉の先端が褐色に変色）が発生する場合があります。近年、この症状が見られた場合は「S258」よりもリン酸成分の少ない「S066」の使用を検討しましょう。

3 種籾の浸漬と催芽

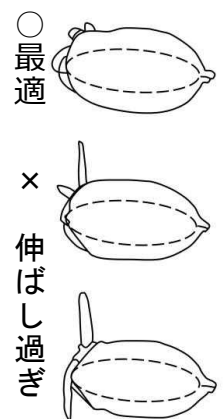
○温湯消毒種籾は感染防止のため清潔なパレット等の上で保管しましょう。

【浸種のポイント】

- 水 温：11~12℃
- 日 数：5~6日
- 水交換：1~2日毎

【催芽のポイント】

- 適温30~32℃を維持
- 16時間後ごろから催芽状況を確認
- ハトムネ~2mm（平均1mm）目標



【褐条病対策の食酢による防除は必ず実施】

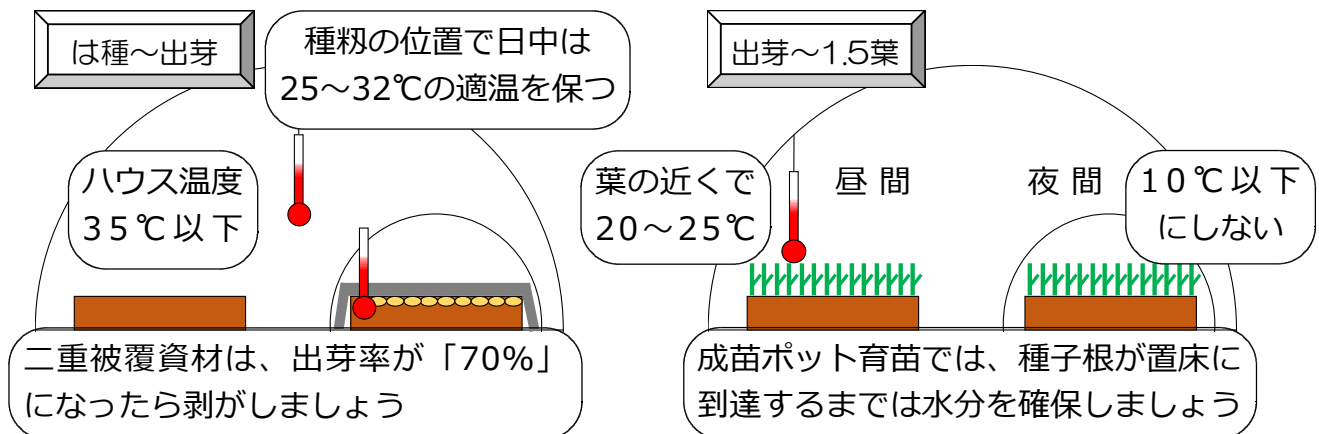
- 循環式催芽器は催芽時に、蒸気式催芽器は浸種の最後48時間に使用
- ※穀物酢（酸度4.2%）を50倍に希釈して使用（倍率厳守）

【ばか苗病菌汚染防止】

- 種子や機材・周辺環境を清潔に保ち、「浸種・催芽時の適切な管理」、「稲わら・籾殻の適切な処理」を実施しましょう
- 前年に発生が見られた場合は、次亜塩素酸0.0125%水溶液による「機材の洗浄・消毒」を実施します

4 育苗管理のポイント（は種～1.5葉期まで）

(1) 育苗管理の概要



(2) かん水の目安 ～かん水は一度にたっぷりと～

- ① 早朝、葉先に水滴が少なくなったとき
- ② 日中、葉先の展開が悪くなったとき
- ③ **1.0～1.5葉期はかん水を控えめにして根張りを促進します**

※注意！高温にあたると・・・

強風時の被覆資材のめくれやハウスビニール・被覆資材を新調した際の高温障害に注意しましょう！特に並んだハウスの内側の棟では温度が上昇しやすくなります。

【軽症：生育が一時的に停滞(4～7日) 重症：早期ににまき直し等の判断が必要】

芽の致死温度：42～45℃ ➡ 20～30分
根の致死温度：43℃

※芽・根ともに49℃ 1分で死滅

～農作業が本格的に始まります。農作業事故に注意しましょう！～